

# Happy Japan Project 平成21年度 活動報告集



N P O 法人  
Happy Japan Project

<http://www.happy-j-project.com/>

## Happy Japan Project 平成21年活動内容

### ◆2月12日 福山市本郷小学校 講演&ライブ

2008年に一度訪れた本郷小学校。子どもらしさ溢れる元気なみんなにもう一度会いに行く。  
2～6年生のみんなと体育館で交流会。  
終了後も、写真やサインとたっぷり触れ合い、相変わらずいい余韻の残る学校だった。



### ◆2月13日 尾道市日比崎中学校 創立50周年記念 教育講演会

池永憲彦の母校・日比崎中学校での記念講演会。  
佐藤真海講演と池永憲彦ミニライブ。  
最後の二人での掛け合い(質問形式)は、「生徒の心に入ってくる」と評判がよかった。  
不自然だった二人のコラボによる「教育講演会」も徐々に板についてくる。

生徒のみんなが、お礼に歌をプレゼントしてくれた。



### ★4月5日 HJP総会&1周年記念パーティ @代々木 ルッコラ

#### 第一部 総会

- ①活動報告(池永作による笑いあり涙ありのHJPの経過を辿るスライドの上映)
- ②佐藤真海から皆さんに北京までの応援のお礼など挨拶
- ③選手会の河合純一氏より今後の計画について
- ④HJP島田薫氏より「NPO法人化」に向けての説明

#### 第二部 懇親会

池永司会により、越智カメラマンとのトークショーなど。他、ミニライブなど親睦会。



### ◆7月4日 福山市 大成館中学校 教育講演会 @西部市民センター

本郷小学校からのご縁。熱心なPTAのお母さん達の熱意により、音響設備も整った綺麗な会場で、2年生を対象に教育講演会を行った。

テーマは、「今、自分にできること」。

佐藤真海による講演→池永憲彦ライブ&トーク→実演→質疑応答の流れで、たっぷり充実した2時間を過ごした。



★トーク交流イベント「夢を翔ける～パラリンピックアスリートからあなたへ～」 in 滋賀

日時： 7月21日（火） 14：00～16：00 場所： 瀬田公園体育館

主催： Happy Japan Project 実行委員会

後援： 滋賀県、滋賀県教育委員会

滋賀県神道青年会の皆さんのご協力のもと、滋賀県と滋賀県教育委員会の後援名義をもらい夏休みのはじめに開催。インフルエンザの影響で学校での補習授業があったりと参加者は60人ほどと多くはなかったが、参加した親子、地域の方とトークや軽い運動を通してポジティブな姿勢や生きることの大切さ等たくさんを感じてもらえる時間となった。

後日、京都新聞に写真入りで当日の様子が掲載された他、地元のケーブルテレビも取材にきた。



HJPからは、真海の他に島田、渡邊、坪松が参加。不在の池永に変わり滋賀県神道青年会会長が司会を務めた。

島田からの挨拶の後、真海紹介DVD放映、トークショー、義足での実演、みんなとかけっこ、縄跳び等軽く体を動かしながら楽しんだ。子どもたちは、最初義足にびっくりしていたが、すぐに興味深く触ったり持ったりしていた。



◆7月23日（木） 皇學館大学社会福祉学部地域福祉文化研究所主催特別講演会  
場所： 皇學館大学名張学舎（三重県名張市）

HJP渡邊の母校である皇學館大学にて「社会福祉」、「地域福祉」をテーマでの特別講義。兼ねて「障害者スポーツ指導員（初級）」取得予定者を対象とした特別ゼミとしても併設された。現役パラリンピアンとして 佐藤真海が特別講師として出席、テーマは、「夢を跳ぶ～パラリンピック・アスリートの挑戦」



◆9月9日 川崎市 生田中学校 教育講演会

池永憲彦のバンド時代の繋がりからの依頼。生田中学校は、「命」についての道徳研究の指定校となっており、年間を通して熱心に授業を行っている。真海の著書「夢を跳ぶ」を授業に取り入れている。

この日は、体育館で二人でのいつもの講演&ライブをした後、全クラスがそれぞれ講演を振り返ったり、本を用いたりしながら道徳授業を行った。真海も全クラスを回って質問に答えたりメッセージを送った。



生田中学校では講演の日までに佐藤真海の本を使って予め「事前学習」をしてきていた。この事前授業はかなりありがたく、生徒の心にも講演の話が入っていきやすい。この学校の生徒は遣り甲斐を感じるくらい熱心だった。

◆10月17日 香川県高松市立協和中学校 教育講演会

HJP 理事の小西氏のご紹介による講演会。

いつもなら、体育館で佐藤真海講演→池永憲彦トーク&歌→スポーツ義足実践→質問などのトークセッションというパターンなのに、この頃大流行りの「**新型インフルエンザ**」により、二クラスが休校に。

一度に生徒を集める事が難しくなり、急遽**テレビ放送**での講演が決定。

生徒の顔もわからないし、カメラに向かって延々と話すだけなので、生徒が聴いてくれるか心配だったが、その後一クラスずつの教室訪問した時の生徒の反応の良さに一安心。



高松中学校でも講演の日までに佐藤真海の本を使って予め「事前学習」をしてきていた。  
生田中学校でもそうだったが、いくらこっちが頑張っても聴く体制が整ってなかったら伝わらない。事前授業は本当に生徒の事を思うからこそこの試みだと思う。

◆11月29日(日) ホテルニューオータニ  
第二回トーク交流イベント

## 夢を翔ける ～オリンピック・パラリンピアンからあなたへ～

大好評だった2008年3月のイベントに引き続き4ヵ月後に迫るバンクーバーパラリンピックに向けてのイベントを開催しました。今回は冬季バンクーバーに向かう現役選手や、夏季パラリンピアンとのトークや競技紹介に実演、体験コーナーを設け選手と身近に交流できる時間を作りました。会場は沢山の人で賑わい、なんとヤクルト最多投手の館山昌平選手もサプライズでユニフォーム姿で登場してくださいました。パラリンピアンも多数参加し、その様子は後日TBSみのもんたの朝ズバッで放映されました。

### 第二回トーク交流イベント【 夢を翔ける ～オリンピック・パラリンピアンからあなたへ～ 】

- 日 時 : 2009年11月29日(日) 開場 13:30 開演 14:00
- 場 所 : ニューオータニ ガーデンコート 鳳凰の間(西の間) 収容可能人数 椅子席約240名
- 会 費 : 前売り1500円 当日2000円 (ドリンク付き、小学生以下無料)
- 内 容 (概要)
- ◆オリンピック・パラリンピアンによるトークショー
- ◆バンクーバー選手へのエール
- ◆パラリンピック種目体験(車いす、義足)を通じた参加者と選手の触れあい
- ◆パラリンピック写真展
- 主催: 日本パラリンピアンズ協会 (PAJ)
- 企画: Happy Japan Project (HJP) 協力: 伊藤将秀 (デザイン)、越智貴雄 (写真)、Strong Heart
- 後援: 日本パラリンピック委員会 (JPC) 東京都、日本オリンピック協会

## 夢を翔ける～オリンピック・パラリンピアンからあなたへ～

第一回トーク交流イベント(2008年3月30日)は応援者とパラリンピアンが一つになって北京に向けての告知イベントを開催しました。

今度はその応援者と夏の選手が共に手を合わせ、冬の選手を応援すべく、イベントを開催しました。

まだ認知度が低いパラリンピックですが、その魅力を多くの人に知っていただくため、日本パラリンピアンズ協会の理事でもあり、義足の走り幅跳び日本代表でもあり、Happy Japan Projectの理事でもある佐藤真海が中心となってパラリンピアン、応援者と共に手を合わせ、第一回を超える程の素晴らしい内容を提示する事が出来ました

### イベント内容



司会 川尻 友紀子 (東北放送アナウンサー)

●主催者挨拶

発起人挨拶 池永憲彦 (Happy Japan Project)

河合 純一 (日本パラリンピアンズ協会会長/競泳)

司会者の川尻友紀子さんは東北放送で佐藤真海を北京まで追いかけて取材した事もあって、今回自ら大役を買って出てくださいました。その情熱主催者挨拶では「パラリンピアンが私費で年間100万円以上の支出が強いられていること、さらに事業仕分けによりパラリンピックを始めとする障害者スポーツへの助成金が削減されようとしていることなどを訴えました。」

## ●トークショー

荻原 健司さん（参議院議員／JOC評議員・日本オリンピックズ協会代議員）

上原 大祐選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／アイスレジャホッケー）

中島 洋治選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／チェアカーリング）

森井 大輝選手（バンクーバーパラリンピック日本代表候補／アルペンスキー）



荻原さんの素晴らしく巧みなトークで選手の言葉もたくさん引き出していただき、選手も笑いあり、しっかり訴えるところは訴え、素晴らしいトークセッションとなりました。実際に競技に使う器具の紹介もあり、冬の競技の面白さや難しさがリアルに伝わり、会場のお客さんは「へえ～」と感心しながら選手の話に聞き入っていました。

## ●バンクーバーパラリンピック日本代表候補選手紹介

小川 亜希 選手（チェアカーリング）

大日方 邦子 選手（アルペンスキー）

狩野 亮 選手（アルペンスキー）

永瀬 充 選手（アイススレッジホッケー）

夏目 堅司 選手（アルペンスキー）

選手一人一人からバンクーバーへ向けての抱負や今後のスケジュール等を報告。

永瀬選手からのバンクーバーパラリンピックのマスコットのぬいぐるみの来場者プレゼントもありました。



## ●応援ビデオメッセージ放映

- ・橋本聖子様
- ・吉原知子様
- ・元プロ野球選手の小宮山様
- ・今季最多勝投手のヤクルトスワローズの館山昌平投手

## ・お祝いメッセージ紹介

参議院議員 舛添要一様、矢野哲朗様、有村治子様

## ●参加者とのコミュニケーションタイム（義足・車椅子体験等）

ナビゲート 佐藤 真海（パラリンピアンズ協会理事／陸上競技）

特別ゲスト 越智 貴雄 カメラマン（10年間パラリンピックを撮り続けるカメラマン）

ナビゲートとして佐藤真海が加わり、義足やシットスキーの体験。



このコーナーでなんとヤクルトスワローズの館山投手の登場！！急遽、野球教室終了後、ユニホーム姿で駆け付けてくださいました。館山投手は、競技用のシットスキーを体験するなどした後、パラリンピック選手を応援したい、一緒に何か企画したり、神宮球場にも招待したい、そのためには神宮球場をバリアフリーにというお話もいただきました！



## ●応援の歌

池永 憲彦（ミュージシャン／Happy Japan Project理事／本イベント発起人）

「夢を翔ける」熱唱

イベント終了後

荻原健司さんや館山投手は、終了後も参加者と触れ合ってくださいました。



誰から言われた訳でもなく、強制でもなく、多くの熱い気持ちが一つになって最高の時間を作る事が出来ました。パラリンピックがもっと沢山の人の心を照らす日がすぐ近くに来ている事を、私たちは確信しています！

2009年12月5日(土)

Heart&Soul(学生団体)講演会 国立オリンピックセンター

Heart&Soul という学生団体の講演会に出演しました。いつもと違って佐藤真海、池永憲彦に荏原商事の社長であり、HJPの事務局長をされている島田薫氏と三人での出演でした。

アスリートの真海、ミュージシャンカズ、企業の社長の薫と、かなり話のネタの範囲が広い三人に新しい可能性を感じました。

ここに参加した学生の眼はきらきらして、参加した三人の話にも熱が入り、あっという間に時間が過ぎて行きました。



2009年12月23日

Xmasカンターレ09～星空に続く足跡～【代々木イタリアンレストラン ルッコラ】

HJPクリスマス企画

「一人一人がサンタクロース」

ライブあり、ゲームありのクリスマスパーティを開催し、その会場に1000円以内のプレゼントを持ってきてもらい、集まったプレゼントをクリスマスに施設の子供たちに届けに行くという企画です。

この日参加出来なかった人達も、郵送でプレゼントを送って頂き、集まった数は90個以上でした。



第二部では2009年活動報告スライドで1年を振り返る事からスタート。

その後はゲームなどでクリスマスを楽しみました。そしてサプライズでクリスマスに施設と一緒に行くサンタクロースが登場!

2009年最後のイベントもたくさん笑顔で溢れた時間で締めくくられました。

**自分が出来る事なら積極的にやるけど、その根底にあるものは**

**「楽しく!ワクワクしながら」**

**楽しく笑顔いっぱいの場所には楽しい企画がいっぱい集まってきます**



12月25日 東京都七生福祉園訪問 「七生クリスマスパーティ」

去年に引き続き、東京都七生福祉園を訪問。集まったプレゼント約90個をお届け。子供達と、ゲーム、歌で交流の後サンタクロースが登場。1時間にわたる暖かい時間を過ごしてきました。

(佐藤真海ブログ[http://blog.livedoor.jp/mami\\_sato/archives/2009-12.html](http://blog.livedoor.jp/mami_sato/archives/2009-12.html)

池永憲彦ブログ<http://ameblo.jp/kazumusic/entry-10420004580.html>)



佐藤真海コスプレ。だいぶ板についてます♪



最初の挨拶。去年訪問した二人を覚えてる子供達もいました♪



ゲームスタート。音楽と共にじゃんけんをして長い列車を作っていきます。

今回は私達がサンタと見せかけて、実は本物のサンタに来てもらいました。佐藤真海の友人のアメリカ人のチャーリーさんにサンタ役になってもらい、歌を歌い終わったら現れてもらうというかなりワクワクな企画で、本物を見た子供達が目をまん丸くして驚いてました。

音楽のプレゼント。クリスマスソングを一緒に歌いました。

- 1、 ホワイトクリスマス
- 2、 サンタがパパにキッスした
- 3、 ジングルベル
- 4、 あわてんぼうのサンタクロース



そしてついにサンタクロース登場！  
一人一人にプレゼントを届け、  
質問に英語で答える。(HJPの佐藤亜希子通訳)

**笑顔で子供達に手を振って、サンタは帰っていく**



いい子にしてたら  
また来年くるぞ



真ん中の女性は東京オリンピック・パラリンピック招致委員会の広報担当の当間文美さん。  
招致活動も終わってもう、仕事ではないのにも関わらず、「何か手伝わせてください」と自ら参加して下さった。他にもHJPから平日にも関わらず、何人か参加してくれた。子供達の喜ぶ顔、歌声が僕らにとっての最高のクリスマスプレゼントになった。  
来年も必ず来ようと思う。

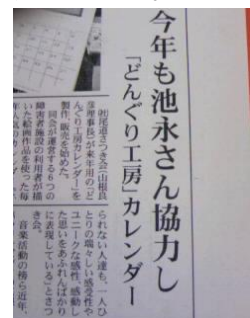
**その他の活動**

**◆尾道福祉施設 どんぐり工房 2010年カレンダープロデュース**

社会福祉法人「尾道さつき会」が運営する障害者施設の絵画活動プロジェクト『どんぐり工房』は、1990年以来多くの作品を生み出してきました。  
みずみずしい感受性、感動した熱い思い、ユニークな感性・・・。  
その活動を広く知っていただくために、カレンダーを製作しています。  
その活動にHJPが参加し、2009年カレンダープロデュースをした所、年内完売という快挙を成し遂げました。  
2009年に引き続き、HJPの協力のもと製作チームを組み、また新しく2010年版カレンダーを作り上げました。  
今年のテーマは「VOICE(ボイス)」。10月販売予定です。



2010年カレンダー 作品一例



◆8月8日 ジャパンパラリンピックデー@オリンピックプラザ(屋外スペース)にHJP会員も体感すべく参加

義足選手による幅跳びの本番さながらのデモンストレーションの他、車いすバスケットやゴールボールなど一般参加者がパラリンピック種目を実際に体験できるコーナーありの2016東京招致活動の一環としてのJPC主催イベント。



真海はこの日、競技解説デビュー☆



参加してはしゃぐ池永、高木。カメラマンの越智さんも車いすバスケットを体験！

◆カンパプレス・越智貴雄カメラマンによるパラリンピック写真展が多数開催！

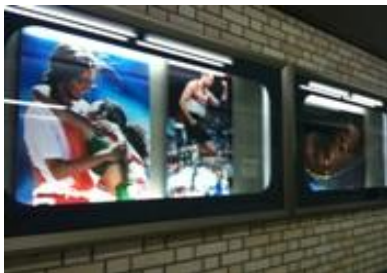
昨年、HJPから2016招致委員会に提案し、パラリンピック報道写真展～写真展「感じるパラリンピック」(in 都庁)が実現したが、その後2009年に入ってもオリンピック・パラリンピック招致という好機を活かし、パラリンピック写真展が次々と開催された。

★4月 江東区夢の島競技場<佐藤真海写真展>

★有明スポーツセンター<パラリンピック写真展>



★8～9月 銀座ギャラリー <パラリンピック写真展>



★8月 墨田区役所 <パラリンピック写真展>



カメラマン  
越智貴雄さん

真海をバックに真海パシャ

日本初！義足の人の義足体験！

## ◆東京都庁にて

現地時間 10月2日(金)、デンマーク・コペンハーゲンで開催された国際オリンピック委員会(IOC)の総会で、2016年第31回オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地を決める投票が行われるに際し、招致委員会とその行方を見守るために駆けつけた HJP小堀理事長以下会員たち。

結果は、ご承知の通り、ブラジルのリオデジャネイロが選出されました。

しかし、HJPが忘れてはならないレガシーとは 昨年3月開催の  
パラリンピックトーク交流イベント「夢を翔ける～パラリンピックアスリートからあなたへ」の開催で  
パラリンピックの素晴らしさを訴えた、そのHJP会員各位の熱い思いが世の中を動かし、その後、  
東京オリンピック招致委員会の名称が、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会へと変更された。

このことは、まさにレガシーとして 招致活動ともに 語り伝えられてゆくべきであろう。  
佐藤真海はパラリンピックをもっと沢山のの人に知ってもらうために  
招致が決定する最後の最後まで人前に立ち、メッセージを発信し続けた。



## 最後に HJP笑顔の輪



会議の様子。HJPのNPO法人化に向けて、4月から毎月一度、荏原商事会議室で夜19時～21時まで議論を交わしました。NPO法人化に向けたメンバー【小堀、島田、坪松、渡邊、池永、佐藤、小川、寶田、篠原、そして古屋さんも山梨から数回駆けつけて下さいました】。終了後の銀座での夜も楽しみでした♪



毎月開いている代々木「利代」での『皿うどんの会』。最近は、多くの参加者で賑い、異業種交流の場となっています。

**番外編** 富山視察(何の?)と 北京パラリンピックの終了奉告参拝(伊勢神宮)での一コマ(お忍びではありません♪)。



2010年もどうぞよろしくお願いいたします